

平成 26 年度以降の経営改善のための取組

(1) 現計画からの継続・拡大項目 ≪ 『病院経営計画』 ③ 目標達成のための取組 (イ) ≫

分類	取組項目	実施時期	取組内容・効果・目標	前回までの方向性
経費節減抑制対策	S P D 導入の適否の検討	継続	<p>他病院の S P D 導入実績を参考に、S P D の導入の適否について検討する。導入により情報の一元化、診療材料費の節減、及び管理コストの低減を図る。</p> <p>※SPD とは…Supply Processing&Distribution の略 医療物品の調達、在庫管理だけでなく、供給・加工・配送のプロセスとこれに伴う情報を統合的に管理する物流管理手法のこと</p> <p>【目標】平成 27～28 年度 先進病院・S P D 業者実態調査、検討</p>	継続検討 他病院の S P D 導入実績を踏まえ、導入効果について今後も検証を行う。
経費節減抑制対策	医療機器購入についての精査、選定	継続	<p>ヒアリング、医療機器等購入委員会等により精査、選定することで、より費用便益に優れた必要度の高い機器の購入ができ、投資的経費の効率的な運用に繋がる。</p> <p>※医療機器等購入委員会…院長、医療職、看護職、医療技術職、事務職の約 20 名で構成される院内委員会のこと</p> <p>【目標】平成 26 年度～ ヒアリング、医療機器等購入委員会の開催</p>	継続
収入増加確保対策	医療スタッフの安定的な確保	継続	<p>「医療職員雇用戦略プラン」を着実に実施し、「7 対 1 看護体制確保」、「I C U 整備」、「病棟薬剤師の配置」の実現に必要な医療スタッフを確保し、医療機能の充実を図る。</p> <p>※医療職員雇用戦略プラン…平成 25 年度に雇用目標達成のための雇用戦略、アクションプラン、広報プランを定めた計画のこと</p> <p>【目標】H26～27 年度 ICU 整備、病棟薬剤師配置</p>	拡大
収入増加確保対策	未収金対策	継続 (H20 年度～)	<p>徴収員 3 名で滞納診療費等の抑制を図るとともに、新たな収納案内・収納方法の導入により、患者サービスの向上と収納率向上を図る。</p> <p>【目標】未収金残高の減少</p>	拡大 患者サービスの向上と収納率向上を図るため、コンビニ収納の導入を検討している。

分類	取組項目	実施時期	取組内容・効果・目標	前回までの方向性
収入増加 確保対策	D P Cに対応した 診療の実施	継続 (H21年度～)	<p>リスクの少ない手術予定の患者に対し、外来にて術前検査を実施し、入院期間を短縮することにより、D P C評価による診療収入全体の増収を図る。</p> <p>※DPCとは…Diagnosis Procedure Combination（診断群分類）の略</p> <p>病気の種類と診療内容によって分類された「DPC」と呼ばれる区分に基づき、あらかじめ国の定めた1日当たりの定額部分と出来高部分（手術等）を組み合わせることで計算する方式のこと</p> <p>【目標】 DPCの医療機関別係数増に繋がる施設基準等の維持及び取得</p>	<p>継続</p> <p>後発医薬品は安全管理や安定供給について考慮する必要があるため、今後も院内の薬事委員会で適切な検討を行ったうえで採用する。</p>
収入増加 確保対策	患者駐車場の確保・整備と料金改定	継続 (H21年度～)	<p>患者駐車場1台当たりの幅が狭いこと、平日午前中の渋滞が続くことから、駐車場スペースの確保と整備が必要である。あわせて現行の料金体系と徴収方法を見直し駐車場収入を整備事業に充てることで、患者満足度を向上させる。</p> <p>《確保・整備内容（案）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の拡幅（2.5mへ変更） ・駐車スペースの確保（近隣土地の借用、職員夜勤用駐車場の活用、第一駐車場の拡張） <p>【目標】 平成26年度 整備計画の策定・料金体系の検討 平成27年度 整備の実施・料金体系の変更</p>	<p>継続検討</p> <p>I C Uの完成に合わせ区画の見直し、駐車台数の増加について検討</p>
収入増加 確保対策	医師住宅跡地 （駒越西・迎山） の売却及び利活用	継続 (H22年度～)	<p>駒越西医師住宅跡地については、入口の道路幅が狭く開発行為ができないため売却困難との鑑定者の助言を踏まえ（H23年度公募をしたが応札者なし）、売却以外にもカルテ庫や駐車場等の利活用方法を検討していく。</p> <p>迎山医師住宅跡地については、一般住宅用地として売却予定である。</p> <p>【目標】 平成26年度 駒越西：カルテ庫設置 迎山：売却</p>	<p>H25年度 迎山医師住宅を売却予定</p>
その他	医師業務の負担軽減	継続 (H20年度～)	<p>医師事務作業補助者（医療秘書）を配置することにより、継続的に医師業務の負担軽減を図る。</p> <p>【目標】 配置体制30対1（入院患者30人に対し医療秘書1人） ⇔17人の維持</p>	<p>拡大</p>

分類	取組項目	実施時期	取組内容・効果・目標	前回までの方向性
その他	看護師の離職防止	継続	<p>慢性的な人員不足による看護職員の業務負担の軽減のため、看護補助員の確保を継続的に図るとともに、退職予定者（又は看護職員全員）に対するアンケート調査を実施し、退職理由の把握に努め、改善策を検討する。</p> <p>また、院内保育所における夜間保育等の拡大など、その機能の充実を図り、より働きやすい環境の整備に努める。</p> <p>【目標】平成26年度 アンケート実施 離職防止策及び院内保育所充実策の調査検討</p>	拡大
その他	高度医療機器等の計画的整備	継続	<p>高度医療器機等の計画的整備により、地域の基幹病院としての機能を強化し、地域医療ニーズに応えることで患者サービスと患者満足度の向上を図る。</p> <p>【目標】平成26年度 400百万円（ICU関係除く。） （第2次総合計画内示額）</p>	継続
その他	患者満足度調査の実施	継続	<p>患者による医師、看護師、事務等への評価、要望を把握し患者サービスの向上及び経営の改善を図る。</p> <p>【目標】平均満足度評価4以上（5段階評価）の確保</p>	継続
その他	医療情報の発信と市民ボランティアの活用	継続	<p>清水区における急性期医療を担う基幹病院として、区民を対象とした健康や病気予防等に関する講座を開催して医療情報の発信を行う。</p> <p>また、病院ボランティアには患者サービス向上のため病院事業のお手伝いをいただいているが、日常的な課題等を共有し、改善対策について検討するとともに、広報などによりボランティアの増員を継続的に図る。</p> <p>【目標】平成26年度 健康講座の開催</p>	継続
その他	認定看護師の資格取得推進と看護師のスキルアップ	継続	<p>高度・専門分化が進む医療現場において看護の質向上のために認定看護師の確保は重要であるため、今後も取得に必要な研修に関する業務体制面や経費面での支援を継続して行い、毎年計画的に確保する（H25年度末：9名）。また、認定看護師を適所に配置することで能力を効果的に発揮するとともに、院内職員に対する研修などを通して看護職員全体の更なるスキルアップとモチベーションの向上を図っていく。</p> <p>【目標】認定看護師の毎年3人程度の計画的確保 （特にICU関連やがん分野の資格認定に努める。）</p>	拡大